

国語科を学ぼう

1 国語科の目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。</p> <p>(2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養</p>
--

【各学年の目標】

	第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年
A 知識 技能	(1)社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 (2)我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	(1)社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 (2)我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	(1)社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 (2)我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
B 思考力 判断力 表現力	(1)筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養う。 (2)日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものに行うことができる。	(1)論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養う。 (2)社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	(1)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養う。 (2)社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
C 学びに 向かう 力、人 間性等	(1)言葉が持つ価値に気づくとともに、進んで読書をする。 (2)我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(1)言葉が持つ価値を認識するとともに、読書を生活に役立てる。 (2)我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(1)言葉が持つ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させる。 (2)我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

2 指導計画

月	1年(140時間)	2年(140時間)	3年(105時間)
4	言葉に出会うために 野原はうたう 声を届ける 書き留める	1 広がる学びへ アイスプラネット 聞く 問いを立てながら聞く 枕草子 情報整理 漢字1	1 深まる学びへ 握手 評価しながら聞く 学びて時にこれを習ふー「論語」から ○文章の種類を選んで書こう 情報整理 漢字1
5	1 学びをひらく シンシユン 情報 漢字1 2 新しい視点へ ダイコンは大きな根? ※硬筆練習	○多様な方法で情報を集めよう 2 多様な視点から クマゼミの増加の原因を探る ※硬筆練習	○文章の種類を選んで書こう 情報整理 漢字1 2 視野を広げて 作られた「物語」を超えて ※硬筆練習 思考のレッスン
6	ちょっと立ち止まって ○「好きなもの」を紹介しよう 文法1 情報社会を生きる	○魅力的な提案をしよう 文法1 メディアを比べよう	○説得力のある文章を書こう 文法1 情報社会を生きる
7	3 言葉に立ち止まる 詩の世界 比喩で広がる言葉の世界 言葉1 言葉を集めよう ○読書を楽しむ 本の中の中学生	3 言葉と向き合う 短歌に親しむ 短歌を味わう 言葉1 言葉を比べよう ○読書を楽しむ 翻訳作品を読み比べよう	3 言葉とともに 俳句の可能性 言葉を選ぼう 言葉1 ○読書を楽しむ「私の一冊」を探しに行こう
8	4 心の動き 大人になれなかった弟たちに 星の花が降るころに ○項目を立てて書こう 推敲 言葉2 漢字2	4 人間のきずな 盆土産 字のない葉書 ○表現を工夫して書こう 質問 言葉2 漢字2	4 状況の中で 挨拶 故郷 ○聞き上手になろう 推敲 言葉2 漢字2
10	5 筋道を立てて 「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ ○根拠を示して説明しよう	5 論理を捉えて モアイは語るー地球の未来 思考のレッスン 討論 音読 ○根拠の適切さを考えて書こう	5 自らの考えを 人工知能との未来 ○話し合いを効果的に進める ○多角的に分析して書こう
11	6 いにしえの心にふれる いろは歌 蓬菜の玉の枝 今に生きる言葉「故事成語」 ※書きぞめ練習	6 いにしえの心を訪ねる 扇的「平家物語」から 仁和寺にある法師「徒然草」から ※書きぞめ練習 漢詩の風景	6 いにしえの心を受け継ぐ 和歌 古今和歌集仮名序 君待つと一万葉・古今・新古今 夏草「奥の細道」から ※書きぞめ練習
12	7 価値を見いだす 「不便」の価値を見つめ直す 書評 文法2 読書に親しむ	7 価値を語る 君は「最後の晩餐」を知っているか 鑑賞文 読書に親しむ 文法2	7 価値を生み出す 誰かの代わりに ○情報を読み取って文章を書こう 漢字3 文法2 読書に親しむ
1	8 自分を見つめる 少年の日の思い出 文法3	8 表現を見つめる 走れメロス 文法3	8 未来へ向かって 温かいスープ わたしを束ねないで ○三年間の歩みを振り返ろう 学習を振り返ろう
2	○構成や描写を工夫して書こう 随筆二編 言葉3 漢字3	○構成や展開を工夫して書こう 言葉3 漢字3	
3	○1年間の学びを振り返ろう さくらはなびら	○国語の学びを振り返ろう 木	

3 国語の学習のしかた

① 授業では

- ・教科書をよく読んで、自分で考えて自分の意見をもつ。
- ・自分の考えや意見を、相手や目的・意図に応じて書く。
- ・自分の考えや意見をすすんで発表する。
- ・人（先生や仲間）の話をしっかり聞く。
- ・発表や音読をするときは、大きな声ではっきりと話す、読む。
- ・課題をよく理解して、書いたり読んだりする。
- ・読みの分からない漢字や意味の分からない語句は辞書で調べる。
- ・ノートやワークシートには、ていねいに読みやすい文字を書く。

② 家庭学習では

- ・タブレットを活用し、課題に取り組む。
- ・読みの分からない漢字や意味の分からない語句は必ず辞書で調べる。
- ・ワークブックで予習、復習をする。
- ・活字に親しむ。（読書をしたり、図書館を利用する。）

4 国語の授業に必要なもの

【常にもってくるもの】

- ・教科書
- ・ノート（B5版・縦書きができるもの）
- ・ファイル（ワークシートや資料などをとじる）
- ・漢字の学習（漢字ノート）
- ・200字帳

【学校においてよいもの】

- ・国語のワークブック 国語便覧、国語辞典

5 国語の評価の観点及び評価・評定の方法

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
観点項目	伝統的な言語文化に親しんだり、言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し使ったりするとともに、文字を正しく整えて速く書いている。	目的や場面に応じ、適切に話したり聞いたり話し合ったりして、自分の考えを豊かにしている。 相手や目的、意図に応じ、筋道を立てて文章を書いて、自分の考えを豊かにしている。 目的や意図に応じ、様々な文章を読んだり読書に親しんだりして、自分の考えを豊かにしている。	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する認識を深め、国語を尊重しようとする。
評価方法	○漢字・文法 ・定期テスト ・漢字テスト ○書写 ・書体（行書、楷書の知識） ・筆順、画数、全体のバランス ○古文・漢文 ・古文、漢文の知識 ・文学史	○話すこと 聞くこと ・声の大きさ、話す速さ・伝えようとする意識、内容や工夫 ・質問、メモの取り方 ○書くこと ・課題作文、意見文、読書感想文の記述 ・定期テスト、ワークシート、ノートの記述 ○読むこと ・発言内容 ・定期テスト、ノート、ワークシートの記述	・課題に取り組む様子 ・友人との意見交換の様子 ・グループ活動時の様子 ・授業中の発言内容 ・ノート、二百字帳、ワークシートの記述 ・振り返りシートの記述
評定	3つの観点別評価を総括して、5段階評定となります。		
	十分満足できるもののうち、特に程度が高い	5	十分満足できる
	おおむね満足できる	3	一層努力を要する
	努力を要する	2	1